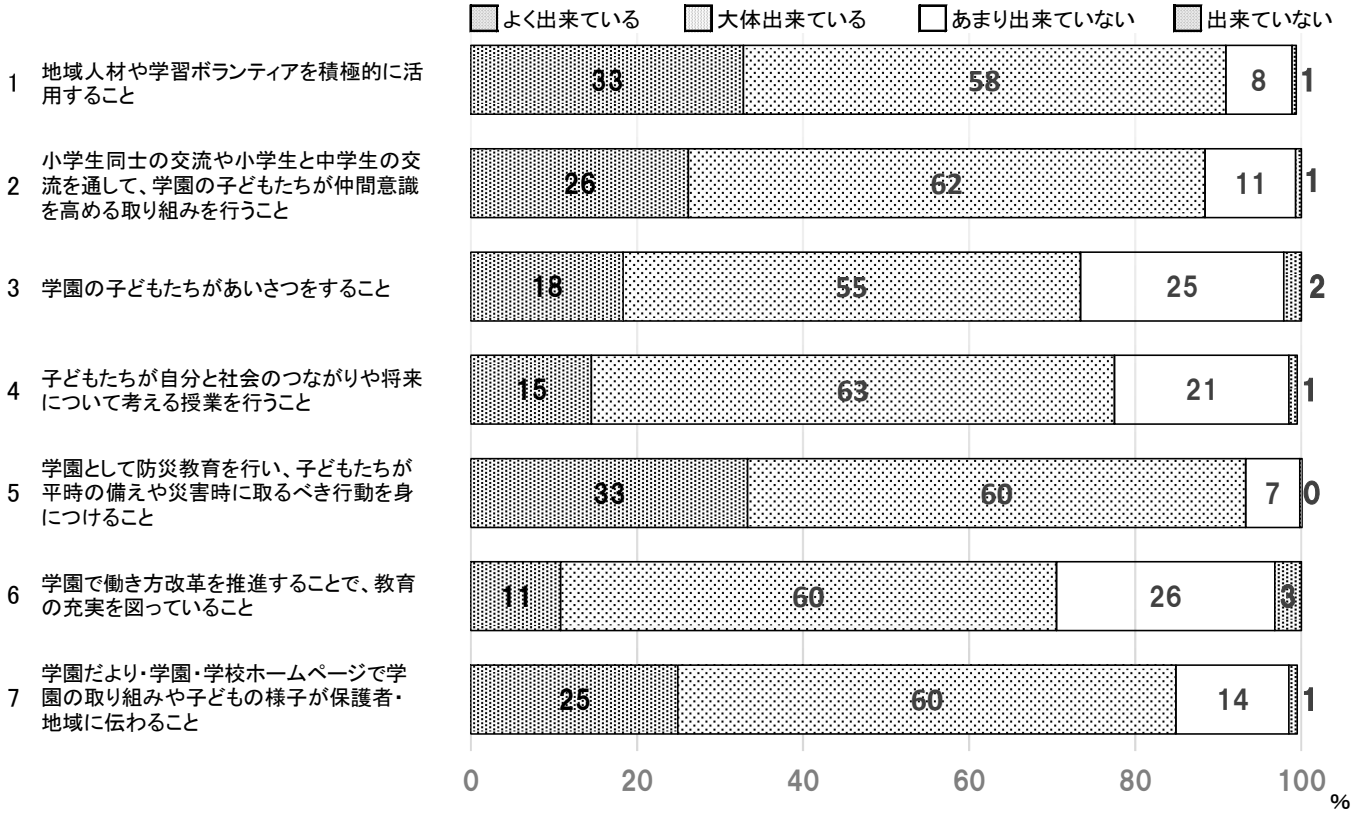
令和元年度　三鷹中央学園　学園・学校評価アンケートまとめ

【三鷹中央学園】

アンケート実施日	：	令和元年10月28日～11月５日
アンケート対象者	：	三鷹中央学園（三小・七小・四中）保護者
回　収　率	：	１１８７世帯／１２３５世帯（９６.１％）



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

本年度は選択肢を4項目とし「わからない」を無くした影響も少なからずあると考えられますが、全項目で肯定的回答の割合が上昇しました。肯定的回答の割合が高い順に、5「学園として防災教育を行い、子どもたちが平時の備えや災害時に取るべき行動を身につけること」、1「地域人材や学習ボランティアを積極的に活用すること」、2「小学生同士の交流や小学生と中学生の交流を通して、学園の子どもたちが仲間意識を高める取り組みを行うこと」、7「学園だより・学園・学校ホームページで学園の取り組みや子どもの様子が保護者・地域に伝わること」となっています。2「小学生同士の交流や小学生と中学生の交流を通して、学園の子どもたちが仲間意識を高める取り組みを行うこと」が昨年度比で17%上昇しています。本年度は開園10周年の年でもあり、交流活動の充実と保護者への紹介の工夫による成果と考えます。引き続き、各校での取組を計画的に実施していくとともに、活動内容を適時にわかりやすく保護者に伝えていくよう努めてまいります。

課題

肯定的回答の低いものについても、その割合はどれも上昇しています。肯定的割合が低いとは言え、最も低い6「学園で働き方改革を推進することで、教育の充実を図っていること」では昨年度比15%増であるので、取組の充実ための工夫、保護者への広報を引き続き、学園で徹底していきます。次に低い4「子どもたちが自分と社会のつながりや将来について考える授業を行うこと」でも昨年度比17%増であるので、各教科や総合的な学習な時間等でキャリア教育に繋がる学習の充実と保護者への広報を引き続き、徹底していきます。最下位となった3「学園の子どもたちがあいさつをすること」では昨年度比8%増でした。昨年度、本年度と低学年のあいさつが少ないとのご意見もありました。あいさつは日常生活の基本であることから、各家庭でのあいさつの励行を進めるとともに、引き続き、学園と地域の連携による、あいさつ運動の充実に努めてまいります。このほか、「子どもの悩みや問題への対応」や「体力・運動能力の向上」にも学園として連携して取り組んでまいります。